



こうほう

— 総代会、各本部全体会議特集 —



DENNET

デンネット“DENNET”は電気（Denki）工
事業で固く結ばれた協同集団（Network）
を意味して造られた組合の略称です。

第 158 号

令和5年（2023年）7月20日

石川県電気工事工業組合

金沢港クルーズターミナル

クルーズの金沢港のあたらしい海の玄関口となる「金沢港クルーズターミナル」。クルーズ船の2隻同時接岸時にも対応できる CIQ（税関検査、入出国検査、検疫）・待合エリアが確保され、高い利便性を誇ります。全面ガラス張りの海側からは日本海を一望でき、夜には美しいライトアップもお楽しみいただけます。もう一つの役割が「金沢港の賑わい創出」。ターミナルでは操船シミュレーターがある「まなび体験ルーム」やレストランが備えられており、クルーズ船のオフシーズンには、CIQ エリアや待合エリアをイベント会場や遊び場として利用することができます。

目 次

新年度のご挨拶	1
第82期通常総代会	9
61回優良従業員表彰式	16
石川県電気工事工業組合「女性部」設立	19
3本部、全体会議	20
電気使用安全月間行事	23
各本部だより	25
青年部だより	33
新加入組合員の紹介	34
新規採用職員の紹介	35
2023年度 第一種電気工事士定期講習会開催予定	40
組合事務局日誌	

カーボンニュートラルの推進を

理事長 米 沢 寛



石川県電気工事工業組合の令和5年度通常総代会は皆様のご協力のお蔭をもちまして無事に終えることができました。役員改選では、9回目の理事長就任となりました。引き続きご指導のほどよろしくお願ひ申し上げます。

電気工事業界は全国的に業者が減少の傾向にありますが、一人でも多くの仲間の増加に努めたいと思います。同時に後継の育成にもさらに取り組みなければなりません。若い人たちに興味をもってもらい業界づくりが変わらぬ課題と考えています。産業界全体に働き方改革が求められています。電気工事業界も近年働き方改革が進んでいますがまだまだ努力が足りないようです。将来の担い手の確保は業界にとって大きな課題であります。高校生の電気工事に対する関心をさらに高め次世代育成に積極的に取り組まなければなりません。本年、石川県電工組にも念願だった女性部が設立されました。業界全体からみても女性技術者の占める割合はまだまだ足りません。女性の確保も大きな課題です。次世代育成に一層取り組むと同時に女性の視点で業界を俯瞰し新たな風を吹き込む努力に期待したいと思います。

一方、カーボンニュートラルへの対応です。世界各国のリーダーが明確に宣言しており、

今や世界の常識になり、日本でも本格的に多種多様な施策が加速しています。ゼロカーボン社会は、日本の新しい成長戦略であり、産業界、経済社会の発展につながり、経済と環境が好循環することを意味します。例えばエネルギーの安定性が高いとされる洋上風力発電は数年前までは技術的以外にも課題が多くあり日本での普及は世界に比べ遅れていましたが、現在2030年を見据え、全体で10兆円以上の大きなプロジェクトが動き始めています。我々に求められていることは、業界の発展のため、省エネルギーからクリーンなエネルギー供給までインフラを整備し、国民の過ごしやすい社会基盤構築を目指さなければなりません。手厚い補助金を活用しながら脱炭素と産業界全体の発展へつなげるだけでなく、私たちに身近な部門にも波及させるために、一人ひとりの脱炭素への意識が高まることも求められます。業界をあげて脱炭素の事業へ積極的参入が新たな雇用創出にもつながり、私たちの大きな使命になるでしょう。カーボンニュートラルを新たなビジネスの糸口と考えしっかりと取り組むことによりビジネスチャンスが見いだせるよう研究提案が求められます。

今後ともご指導のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

新年度を迎えて

副理事長兼
理事長代行兼
加南本部長
(配電担当)

今出真稔



向日葵が日毎に背を伸ばし、空の青さが夏の到来を告げる頃となりましたが、組合員の皆さま方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。常日頃から電気工事組合の諸事業・活動・運営に対しまして、多大なるご理解とご協力を賜り、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。

昨年度に引き続き副理事長（加南本部長・配電担当）兼理事長代行の大任を仰せつかりました。微力ながら精一杯この任務を遂行してまいる所存でありますので、諸先輩方々はじめ組合員の皆さま方から尚一層のご指導とご鞭撻を賜りたくよろしくお願い申し上げます。先般開催されました第82期通常総代会においても、ご出席いただいた総代の皆さま方の熱心な審議により全ての議案をご承認いただいたことにも重ねて御礼申し上げます。

さて、配電委託工事に関して北陸電力送配電(株)とは良好な信頼関係を継続しており、配電工事委託工量単価も昨今は増額改定されてきております。これからは項目毎の工量点数の増加に向けた改定も含め引き続き強い思いを込めて協議を深めて参りたいと考えています。基本ルール遵守と安全作業を基本とし何より発注者と受注者間の信頼関係を大事にしながら、お互いをリスペクトし意見疎通を良

好にすることで信頼関係を強固にし、より良い成果を目指して参ります。

一方では、熟練技術者の多くが高齢化し併せて少子化による将来の人材不足により企業承継問題が大きくクローズアップされております。将来的に企業継続の困難度合いが増すことも予想され、組合員の減少・戦力の減退も懸念されるところであります。雇用環境を整備し若年層の電気工事業界への就労支援を促進し業界の人材不足解消に併せて組合員の減少対策を目的に新規加入者の促進に取り組む必要があります。

このような状況下であります、皆さまと力を合わせてより良い組合活動を行っていきたくと思います。

これから本格的な猛暑の季節となりますが、ご家族・従業員の方々を含めて健康と安全には十分ご留意されご壮健にて盛夏を乗り切られますよう体調管理には十分ご留意されご自愛くださいますようお願い申し上げます。

最後に、皆さまのますますのご健勝とご繁栄をご祈念いたしますとともに、諸先輩方々はじめ組合員の皆さま方から、尚一層のご指導・ご鞭撻を頂戴いたしたくお願い申し上げます。新年度のご挨拶とさせていただきます。

電気工事業の変化

副理事長兼
能登本部長
(安全担当)

稲垣健英



3年間苦しめられた新型コロナが5月8日から2類感染症から5類感染症に移行しました。詳細な変更点は書きませんが通常の生活に戻ったと思います。

3月石川県電気工事工業組合の中に女性部が誕生しました。能登本部では25年ほど前に奥様研修会がありました。研修は経理・官公庁への届け出方法・コンピューターの使い方・同業他社の奥様との懇親等々事業主の奥様に対する研修でしたが、いつの間にか奥様研修会は無くなりました。理由の一つは先に述べた研修が奥様から社員に移行したことが大きな理由でした。年数を経て会社は進化しました。奥様が社業に関係していた割合は当時90%ぐらいあったと思いますが現在は多分60%ほどになっていると思います。今、誕生した女性部は事業主の奥様以外に会社の若手社員や中堅社員が会員です。会員は県下一円からこの女性部への期待は40年前に青年部が設立した時と同じ感激があります。

女性部は設立以来会合を重ねていますがその連絡方法は今の時代そのものLINEを駆使して忙しい女性ならではの会合です。

今はまだ情報収集の時ですが今後女性ならではの視線で電気工事に取り組むと思われま

す。期待の事項は女性の電気工事士の参入、女性社員の各種資格の取得、CAD等の技術習得等々なかなか新入社員が入ってこない現状の打破に大きな期待があります。

女性社員が各種免許を取得する様になれば男性社員も自分も取らねばと言う相乗効果も出てくると思います。現在工業高校電気科の生徒さえ電気業界に就職をしない事が起きています。普通科卒、中途採用に女性の採用等で技術者不足を補う必要があります。女性を一般事務採用から技術者として採用するという選択肢が出てきたと思います。

全体会議を終えて

副理事長兼
金沢本部長
(電設担当)

柚 木 賢



盛夏の候、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。又、平素は組合活動にご理解をいただき、厚く御礼申し上げます。

さる5月19日金沢本部全体会議、同月31日に県通常総会とコロナウイルス感染症が2類からインフルエンザウイルスと同等の5類となり3年ぶりに、マスク無し透明のつい立無しの会議及び懇親会となりました。

全体会議では、懸案となっておりました「内線施工者登録事業所・過怠金制度」が施行されることとなりました。この制度は、外線・引込業者には以前から施行されており、金沢本部（能登、加南本部を除く）を対象とした制度です。詳細につきましては、6月5日にFAXでご案内した通りです。電力送配電設備（電力メータ関係）の不良工事、トラブル等無いようお願い致します。詳細の注意事項にも書いてありますが、過怠金の適用は、本部役員会で再度審査し、悪質なものと認められた時、適用致しますので、ご理解の程宜しくお願い致します。

さて、今年3月3日に石川県電気工事工業組合女性部が発足致しました。初代女性部長には、当本部の榎ナカタケ 専務取締役、中村志保氏が就任されました。我々電気業界

の女性の方々の活躍又、現場での女性進出が期待されます。又、さる6月13、14、15の3日間内線工事新入社員教育研修会が開講されました。受講者41名の内2名の方が女性でした。当組合といたしましても女性新入社員がもっともっと増えるよう全面的にバックアップしていきたいと思っております。

又現在、組合員減少に歯止めをかけるべく組合新規加入向けのパンフレットの製作に取り組んでおりますのでそちらも時期が来ましたらまたご案内したいと思います。

最後になりますが、猛暑の中、熱中症対策を万全にし、災害ゼロでご活躍して頂きます様よろしくお願い致します。



常務理事(企画担当)

竹内 和良

石川電工組の組合員の皆様、今年度も総代会が無事終了して新しい年度に入りました。石川を取り巻く経済状況はコロナ禍も5類に変更されて、少し落ち着きを取り戻して、少しづつでは有りますが、コロナ禍前の通常の経済活動の状況に戻ってきたのではないかと考えております。街には外国の旅行者や国内旅行の人達が多く行き来する様になって来ました。昨年からは私が担当で取り組んでおります女性部の創立も、女性部発起人の方々や組合事務局のご努力によって今年の3月3日のひな祭りの日に石川県電気工事工業組合 女性部設立記念総会が金沢市内のホテルで開催されました。女性部の設立で我々業界での女性の活躍が期待され、より多様性と包括性を追求できる業界の環境になりました。これまで男性が中心となって活動してきた電気工事業界で女性の力や視点を活かす事で、組合内での女性部員の交流や情報共有の促進、女性の意見や要望を集め、女性のスキルやキャリアの向上を支援し女性達がより活躍できる環境を作り、これまで以上に多様性のある組合活動を進め、組合全体が一層発展向上する事が出来るのではないかと期待しております。今年度も電工組以外の組織の女性と積極的に交流など積極的に活動し、石川電工組の組合活動の活性化に貢献して頂くようお願いしたいと思います。最後になりますが、女性部の設立にご尽力頂きました関係者の皆様に心より感謝を申し上げます。



常務理事(総務担当)

米澤 直明

盛夏の候、皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

先般5月31日に開催されました第82期通常総代会において、事業報告・計画、決算・予算承認などの案件について速やかに審議されました。中でも組合規約一部改正において、配電工事発注元事業者の表記を、電力会社から北陸電力送配電株式会社および北電テクノサービス株式会社と明文化し信頼関係の強化がはかられました。又、任期満了による役員改選で心機一転、令和5年度も何卒宜しく願い申し上げます。

長らく私たちに行動制限を強いてきた新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5月8日から「5類」に移行したことにより、国はこれまでのように行動制限を求めることができなくなり、感染対策は今後、個人の判断に委ねられることとなりました。ノーマスクでの往来や会話が日常的に見られるようになり、普段の生活も以前のように戻りつつあります。このコロナ禍で得た体験を後世に伝え、またいつ起こりえるかもしれないパンデミックへの教訓として生かして欲しいものです。

今夏も高温傾向に推移し、電力予備率の逼迫が懸念されていますが、先の国会において可決されたGX脱炭素電源法を追い風に、ペロブスカイト太陽電池などの先進技術を駆使した再生可能エネルギーをうまくミックスしながら、資源の乏しい我が国にとって最有力ベースロード電源としての原子力発電の早期の再稼働を期待するものであります。

私たち電気に携わる者として、お客様に適正・安全に電気を使用していただくように、手直し工事や労働災害の防止、電気工事業界を取り巻く環境や技術に対する知識の研鑽に積極的に取り組んでハード・ソフト両面で貢献していけますように業務推進をして参ります。

今年もまだまだ暑い日が続きますが、熱中症のリスクを回避され、どうかご安全に業務に勤まれます様に、御祈念申し上げます。



常務理事(広報担当)

上 村 和 弥

小暑の候、組合員の皆様におかれましてはお元
気でお過ごしのことと存じます。

引き続き広報委員会を担当させていただきます
上村です。

第82期通常総代会も、組合員の皆様の協力をも
ちまして無事開催され、議事が滞りなく可決、承
認されましたことに感謝いたします。

また「令和5年奥能登地震」においては被災さ
れた組合員、ご家族におかれましては この度の
震災に際し、心よりお見舞い申し上げます。皆
様方の一日も早いご復興をお祈りいたします。今
回は我々が何気なく過ごす日常が脆く儂いものだ
と知らされた、と同時に我々の業界がその日常を
「何でもない一日、何にもない一日」として支え
ていることを改めて意識させられる日々でした。

コロナも5類に移行し、コロナ禍以前に戻るか
といえ、そうではなく依然地域、会社において
も罹患者の対応に追われ、第9波到来の声すらき
かれます。

広報委員会は組合「こうほう」を通じてあらた
めて能登、金沢、加南3本部が結束し、チーム石
川として活動、前進できるよう「役立つこうほう」
をめざしてまいります。

そのためにも組合員の皆様のご意見、ご要望を
寄せていただきますようお願いいたします。

時節柄コロナ対策に加え、熱中症対策も必要と
される時期になりましたが、組合員の皆様の健や
かな事業運営を祈念いたしますとともに、組合事
業運営にもご協力賜りますようお願いいたします。



常務理事(ESCO担当)

宮 下 誠 次

炎暑の候、皆様におかれましては益々の御健勝
のこととお慶び申し上げます。

さて世の中はウィズ・コロナというよりは、も
はや過去の出来事であったかのような毎日ですが
学校などではインフルエンザが流行するなど、特
に子供たちはこの3年間で免疫力を失ったことで
今後、様々な感染症が発生する可能性があること
から衛生面ではまだまだ周りの人達は気を付ける
必要があります。

ESCO事業も6年目となり、メンテナンス
面での自動点滅器や電線ヒューズなどの不良に
よる不点对応の課題はありますが、そろそろ「新
ESCO事業」について検討を進めて参りたいと
思いますのでESCO施工店の皆さまのご意見、
ご要望などございましたら私やESCO事務局ま
でご連絡願います。またこちらからもアンケート
調査などを実施してまいりたいと思います。

最後になりますが暑さに体調を崩されませぬよ
うご自愛ください。



常務理事(電力部長)

田 中 学

いよいよ夏の到来を迎え、組合員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

第82期総代会において引き続き常務理事（電力部長）の職を拝命させていただきました。今年度もよろしく願いいたします。

さて、昨年度の配電工事においては3件の災害が発生しました。施工品質においては一昨年よりパトロールでの指摘件数は減少しました。しかしながら、指摘の内訳では重大指摘が増加しており、災害リスクが高まっています。電気工事は感電、墜落の危険と常に隣り合わせで、ちょっとした油断が重大な災害につながります。作業従事者一人ひとりのリスク予知活動と班長および作業従事者相互の声かけの実践により災害リスクの排除に努めていただきたいと思います。

また、電力事業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いています。北陸電力送配電殿ではコストダウン、効率化を目的とした業務の改革・カイゼンが進められています。当組合としてもこれに対応すべく新たな知識や取り組みが求められます。新しいことにチャレンジすることには抵抗があるものです。しかしそれを乗り越えないと成長はありません。食わず嫌いでなく、何でもチャレンジしてみる姿勢が肝要です。

まだまだ先が見通せない時期が続きますが、試行錯誤し変化に即応できる組合でありたいと願っています。



県青年部長

中 村 栄太郎

令和5年度、6年度 県青年部長を仰せつかることになりました、(株)明生電気商会、米沢電商(株)の中村 栄太郎です。どうぞよろしく願い致します。

日頃より青年部活動にご理解、ご支援、ご協力を賜りまして深く感謝申し上げます。県青年部長として各本部での青年部活動や、やりたい事業をサポート出来るように頑張ります。

昨年の周年事業をきっかけにお互いを知る機会が増え、青年部員間の距離がより一層縮まったと思います。

今年度はさらに交流を深める機会を作っていきたいと考えていますし、チャンスだとも思っています。お互いの意見を聞いて、気づきを得ながら青年部員のつながりを深めていきたいと考えています。青年部活動のメリットはその気づきを得ることです。まずは各本部の事業にお互いが行き来できるような関係を築いていきたいです。それが我々の電気工事業界の底上げ、発展につながると思っています。

引続き親会様のご指導、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。



県女性部長

中村志保

向暑の候、関係者の皆様におかれましては益々ご繁栄のこととお慶び申し上げます。

この度、石川県電気工事工業組合女性部部長に就任致しました中村志保と申します。

2023年3月3日（ひな祭り）に、全国で11番目となります、石川県電気工事工業組合女性部を設立させていただきました。

たくさんの関係者の皆様のご尽力により、女性部を立ち上げることができました事を改めましてご報告と共に女性部一同重ねて御礼申し上げます。

私は、2011年に電気工事組合青年部に入部し、12年という月日が経ちました。

電気工事業界は大半が男性の社会なのでしょうが、女性は私一人！という中で青年部活動。でも青年部の皆様に支えられ、本当に楽しく努める事ができました。

これまでずっと支え続けてくれた皆様に心から感謝しております。

電気工事業界は男性の仕事というイメージがとても強く、実際の働き手も男性が大半を占めているという事は言うまでもありません。

しかし、現在の世の中では、女性の活躍を応援する声が高まりつつあり、逆を言えば、女性としての仕事、女性にしかできない事などが多くある！という事に視線が向いている兆候にあると感じています。

私たち女性が感じた事やできる事。そして女性ならではの考え方や物事のとらえ方を男性社会の

中に多く吹き込み、活躍につなげる事ができれば、今以上の大きな成果が表れるのではないかと強く感じております。

男性の持つ強さ、そして女性が持つしなやかな心の強さ、それが組み合わせさった時、業界の大きな活力になると信じております。

継続は力なりとありますが、女性部を多くの方に認知していただき、そして次世代まで引き継ぐ事ができる組織を作り上げる事が私の役割と心に刻みながら邁進していく所存でございます。

私たち女性部は電気工事業界という大きな海に出航したばかりの小さな帆船です。

どうか皆様の大きなお力で風を吹かせていただき、その風を推進力としながら力いっぱい前進させていただきたい、それが電気工事業界を盛り上げる大きな原動力となることを期待し、青年部と一緒に頑張ってまいります！

これからもたくさんのご指導そしてご鞭撻のほどをどうぞよろしくお願い致します。



第82期 通常総代会

去る5月31日(水)金沢東急ホテルにおいて、第82期通常総代会が開催されました。

当日は、総代62名(内、委任状9名)出席のもと、議案が審議され、原案通り承認された。

- 令和4年度事業報告並びに財務諸表承認の件
- 組合規約一部改正の件
- 役員任期満了による改選の件
- 令和5年度事業計画案並びに予算案承認の件
- 役員報酬決定の件
- 組合加入金決定の件
- 組合借入金残高最高限度額決定の件
- 1組合員に対する貸付最高限度額決定の件

総代会議長に加南本部の中澤 聡氏が選出され、議案審議が行われた。

始めに米沢理事長からご挨拶の後、令和4年度事業の概況報告が説明された。

概 況 報 告

組合員の皆様には、日頃から当組合の事業推進にあたり、格別のご支援、ご協力をいただき、心から厚く御礼申し上げます。

昨年の国内経済は、人口減少・高齢化等の社会的な構造課題と長引く新型コロナウイルス感染症の影響に加え、ロシアのウクライナ侵攻による国際情勢の緊迫化から燃料費・原材料費の高騰や食料品等の物価高騰により、経済活動や日常生活に大きな影響を及ぼし、大変厳しい状況にありました。一方、自然災害は、近年、全国各地で発生しています。石川県内では、奥能登地方で地震が相次いで発生している中、6月に最大震度6弱の地震が発生、8月には小松市、南加賀地方を中心に記録的豪雨災害、12月には再度、能登地方に大雪による大規模な停電が発生しました。被災された皆様には心からお見舞いを申し上げます。

さて、昨年12月1日、「第4回電気工事技能競技全国大会」が横浜アリーナで開催されYou Tube Liveを活用して全国配信が行われました。本大会は、一般の部が全工組から1名とブロック代表を含む53名、女性の部が各ブロックから1名ずつ9名、全国工業高等学校長協会各ブロックから1名ずつ9名の高校生が出場、過去最多となる71名が



競技に臨みました。当組合からは、石川県代表と北陸ブロック代表の2名が出場、入賞には至らなかったが、連日連夜遅くまで練習を重ねてきた努力は見る者に感動を与え素晴らしい大会となりました。

当組合関連では、電気工事士免状作成等業務で4月から従来の紙ベースからプラスチックカードでの交付を開始しました。6月から11月にかけて能登本部の資材倉庫を環境整備と仕事の効率化を図るために、全面改修を行いました。

企画委員会で取り組みを進めて参りました組合女性部の創設については、今年3月に設立総会並びに記念式典を開催し正式に発足しました。今後は、青年部との共同事業や女性部ならではの事業展開により活動の輪が広がり、組合だけでなく業界全体の新たな推進力になることを期待しています。

青年部を中心に実施している県内の工業高校との業界理解促進交流事業は、石川県立工業高校、金沢市立工業高校、羽咋工業高校の3校で実施しました。この事業を継続することで若い世代の職業選択肢となるように交流を深め、業界の魅力を発信していきます。

我々は、電力の安定供給を担いインフラを支える電気工事業界として、一層ウィズコロナ時代に的確に対応することが肝要であり、安全安心に電気を送り届ける使命と自負を持ち、地域社会の持続的発展に貢献する「町の電気ドクター」として、組合員の皆様と共に考え行動したいと考えています。尚一層のご支援ご指導をお願い申し上げます。

令和4年度 事業概要

○組合員 新加入者2名、脱退者7名、
期末において418名。

○出資総額 175,560千円、加入積立金額176,948
千円、合計352,508千円。

○電力受注工事 令和4年度配電工事発注工量
計画の95.9%、前年度対比で99.2%の竣工実績
となりました。工費は2,563.9百万円、副資材
費699.1百万円、工事費合計では3,263.0百万円
の竣工額。

○一般用電気工作物調査業務 竣工調査におい
て受託件数6,388件（前年度対比100.3%）、受
託手数料20,125千円、並びに定期調査において
受託件数51,789件（前年度対比103.4%）、受託
手数料53,881千円、調査業務として74,006千円
の実績となりました。

本部名	実施件数		受託手数料（千円）	
	竣工調査	定期調査	竣工調査	定期調査
金 沢	3,810	32,291	12,751	33,970
加 南	2,578	19,498	7,374	19,911
合 計	6,388	51,789	20,125	53,881

○配電工事施工品質評価実績 (単位：件)

評価分類	評価項目	R 3	R 4
取引停止 措置	取 引 停 止		
	厳 重 注 意		1
事故発生	災 害（不 休）	2	
	停 電・漏 油	1	
安全パト ロール	重 大 な 指 摘	1	6
	軽 易 な 指 摘	5	1
竣工検査	不 良 工 事	2	3
	注 意 工 事	2	
苦 情	苦 情 発 生		
合 計		13	11

○自主安全管理活動 安全管理は、「基本ルー
ルの遵守徹底」を最重点実施項目として位置付
け、諸施策に取り組んできましたが、配電委託
工事において3件の労働災害が発生しました。

電柱積み込み作業でワイヤーロープと建柱車の
フックに指が挟まれ受傷した災害、また、ナイ
フ取り扱い時の不注意による災害等、いずれも
軽傷災害でしたが、内容的には重症災害と言っ
ても過言ではありません。

これらは、経験不足に加え勝手な解釈でルー
ル変更をするなど、安全意識の低下に加え、安
全確認や施工状況を他人任せにする傾向が要因
にあると考えられます。

よって、「基本ルールの遵守」「一動作・一確
認」を徹底し、作業中は常にリスク予知を行う
など、事業主、管理監督者、従業員一人ひとり
が、安全最優先の行動をお願いします。

自主安全パトロールでは、令和4年度の重大
指摘事項は昨年から18件増加し30件と大幅に増
加しました。外線の重大指摘24件の内訳は災害
につながる指摘Aが7件、災害につながらない
危険な行為である指摘Bは17件で、班長ならび
に班員相互の声掛け及び現場管理が適正であ
れば防ぐことができたものです。また引込線での
重大指摘は6件でいずれも指摘Bで充電部の防
護不足と工具・資材に落下になっています。

軽易な指摘を合わせると計99件の指摘が発生
しましたが、作業区画標識の不足や交通整員に
関するものに加え、5m以下でのランヤードの
不適切な使用（廻し掛けしていない）や高所作
業車へのバケット乗込み時の未使用などの指摘
が依然として発生しており、引き続きパトロー
ルで繰り返し指導していく必要があります。

なお、パトロール出勤回数は安全指導員が低
調であり、外線で本部間でのばらつきが目立ち、
引込線にいたっては「10」回となっています。

今後も労働災害の防止と施工品質向上のため、
関係者が同じ意識のもと積極的に関与し、
取り組む必要があります。

外線工事施工品質評価件数は、前年度の13件から11件と減少しました。然しながら、発注者安全パトロールでの重大指摘が大幅に増加し、過去に発生した同様の不良工事が依然として発生しており、ルールの不遵守と工事前後の点検・確認不足が主な要因となっています。

基本ルール遵守と工事前後の確認を徹底するとともに、一動作一確認、復唱復命により一人ひとりが安全・施工品質向上に向けて意識を高める必要があります。

○保守管理業務 保守管理業務については、受託契約件数は期首575件、期末においては560件となり、15件の減少となりました。

契約件数の内訳は官庁関係433件、民間127件であります。本業務はエンドユーザーとの信頼関係の中、メンテナンス分野を通して永続的な技術営業拡大につながるとの観点から、特に官公庁関係を主体に陳情を重ねてまいりましたが、近年は建物改修等により、一般用電気工作物から自家用電気工作物に変更されることから、残念ながら一段と厳しい状況で推移しました。

○教育・資格取得講習 令和4年度の第一種電気工事士定期講習は、3回開催し285名（金沢会場2回224名・能登会場1回61名）の方が受講されました。インターネットを利用したオンライン講習が開始され受講者がオンライン講習、対面講習の選択ができるようになり利便性向上につながっています。

全国的に増えている定期講習は、電気保安の確保ならびに施工品質の向上、さらには電気工事士の資質の向上を図るために必要不可欠な講習であります。当組合では、「一般財団法人電気工事技術講習センター」への「登録」を全組合員にお願いしています。今年度も引き続き、まだ登録されていない工事士の皆様、新規取得者の皆様には、是非とも「一般財団法人電気工事技術講習センター」への「登録」をお願い致します。

○電気工事士免状発行等業務 電気工事士免状発行等業務について、前年度は、第一種電気工事士免状の取得に必要な実務経験年数が「5年以上」から「3年以上」に短縮されたことから大幅に発行件数が増加しました。今年度は、例年並みの取り扱い件数に戻りましたが、受託手数料の単価増額により、予算通りの収益計上ができませんでした。本事業は全国各工組で取り組みが進められています。従来の紙の免状発行は廃止され、令和4年4月からプラスチックカードでの発行がスタートしています。

令和5年度も当組合での受託が決定しており、引き続きこの事業を継続することにより組合の存在意義を大きくアピールしていきます。

○金沢市LED防犯灯ESCO事業 金沢市LED防犯灯ESCO事業は、10年間にわたる維持管理業務の5年が終了しました。令和4年度は、金沢市からの新規取付依頼灯数126灯、独立柱新規取付依頼本数9本に対応しました。また、修理依頼による出勤回数は405回に上り、主な修理内容では、点滅器交換252件、灯具交換37件、ヒューズ切や向き替えなど132件に迅速に対応しました。その他、所有者不明の幽霊街灯処理や稲作対策等、町会と都度協議しながら本事業を進めています。

毎日町会から問合せや修理依頼があります。本事業以外の街灯の問合せも多数寄せられています。今後も、安全で安心な街づくり推進に心掛け取り組んでいきます。

○電気使用安全月間 令和4年度も8月に組合員及び青年部を中心に電気使用安全月間運動を実施しました。

主な活動内容は、金沢本部管内では街路灯・通学路地下通路照明灯の清掃・点検、仮設臨時施設の点検等、能登本部管内では電気工事に関する無料相談所の開設等、加南本部管内では重要文化財の設備点検等を実施し電気使用安全月間PRを積極的に展開しました。また、昨年、一昨年とコロナ禍で中止を余儀なくされていたエレキスクールを3本部青年部が同日に開催し、子供たちに電気の安全な使用をPRしました。

○**広報活動** 広報活動と致しましては、組合「こうほう」誌を年3回発行し、組合員各位、及び防災協定を締結している全市・町に配布致しました。テレビCMについては、「電気のフラメンコ篇」、「石川電気安全サービス“電気設備は大切な財産です”」という二つのタイトルでテレビ金沢のフリースポットで放映いたしております。是非ご視聴されますようお願い致します。

○**材料供給事業** 材料供給事業については、本年度617,821千円（副資材608,621千円、内線3,953千円、一般5,247千円）の販売促進を図りました。資材供給事業にご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今後も組合員の経営安定と省力化に資するとともに事業を推進して参ります。

○**事業資金の貸付** 事業資金の貸付については、諸般の金利水準等の情勢を考慮し貸付金利率を前渡金3.5%で運用し、年度中に総額35,700千円の貸付を行いました。また、一般貸付及び年末特別貸付については、ご利用はありませんでした。

○**福利厚生** 福利厚生関係については、年度中に組合員3名が他界されました。心から哀悼の意を表します。組合共済会・互助会では、8月に発生した豪雨災害の見舞金9件、火災見舞金1件、620千円を給付しました。例年実施しております健康診断は1,735名の方が受診されました。令和5年度も各本部で実施する予定です。全員の受診をお勧め致します。また、組合員を対象としたインフルエンザ予防接種は11名の方から申請がありました。

全日認定制度は、多くの組合員様にご利用いただいております。第三者損害賠償制度、業務災害補償制度、組立保険制度、取引信用保険制度、更に福利厚生の一環として利用できる「グループ共済制度」「生活総合保険制度」など、多様なニーズに対応する制度がそろっております。スケールメリットを活かした加入費で充実した補償内容となっています。各制度への中途加入も随時受付し加入促進に努めていますので、是非、ご一考下さい。

○**全日電工連保険制度**

加入状況（令和5年3月現在）

	第三者賠償	業務災害	組立	取引信用	グループ共済	生活総合
加入者	331社	156社	43社	2社	225社	1社

令和4年度 保険金・給付金支給状況

種別	給付金	
第三者損害賠償	9件	14,525,610円
業務災害補償	6件	2,451,500円
グループ共済	7件	16,864,698円

○**北陸電力持株会** 北陸電力持株会は昭和51年4月に発足以来、組合員各位のご理解のもとで令和5年3月末会員は66名、株式数703,382株を所有しております。

北陸電力との関係を一層密にし、協力体制を確立すること、また、少額資金を継続的に積み立てることによる会員の資産形成を目的としております。更に多くの組合員が加入されますようお願い申し上げます。

○**青年部** 青年部は、創立40周年を迎え、記念式典を開催しました。その際に本会に対しての提言を受け取りました。10年先の未来を見据えたものばかりであります。既に精査したものもありますが、各委員会ですべての事業を精査し、実現可能性があるものに対しては、実施していく所存です。

また、高校生との交流事業も意見交換会だけではなく、高校生ものづくりコンテストの実技指導をするようになり、ますます活動の場が広がっております。次世代育成への取り組みは頼もしく思うとともに、青年部の諸活動に対し、支援をしていく考えであります。

○**女性部** 女性部は、本年3月3日に全国で11番目として、設立いたしました。男性優位の電気工事業界にあって、女性部の役割は未知数ではありますが、女性ならではの視点で業界を俯瞰し、新たな風を吹き込むことを期待し、支援をしていく考えであります。

令和4年度 事業報告書

組合員事項

期首 423名 新加入者 2名 脱退者 7名 期末 418名

〔新加入者名〕

No.	事業所名	代表者名	所在地	本部	支部
879	(株)ライフサワダ	沢田 登	金沢市松村2-33	金沢	西部
880	(株)浜崎電工	浜崎 智尚	金沢市示野町ホ15-1	金沢	西部

〔脱退者名〕

事業所名	代表者名	本部	支部
三興電気設備	関 敏 夫	金 沢	兼 六
(有)北興電機	塩 谷 伸 吾	金 沢	犀 川 東
(株)八反田電気商会	八反田 吉 秀	金 沢	犀 川 西
(有)開成電機工業	谷 輝 夫	金 沢	西 部
(有)ミナミデンキ	南 清 人	金 沢	白 山
良川電機	栗 山 敏 雄	能 登	七 尾
中川電気商会	中 川 隆	加 南	小 松



令和5年度事業計画

未だ新型コロナウイルス感染症は残念ながら収束の兆しが見られないが、昨年10月から全国旅行支援が始まり、訪日外国人客の水際対策も緩和される等、社会経済活動の維持・回復とコロナ感染対策を両立させる、日常を取り戻す政策へと転換が図られてきています。5月の大型連休明けに、新型コロナウイルスの感染症法上の扱いを現在の2類相当から、季節性インフルエンザと同等の5類へ引き下げられました。

さて、昨年は「基本ルールの遵守徹底による労働災害撲滅」を最重点実施項目と位置付け、諸施策に取り組んできましたが、残念ながら配電委託工事で3件、内線工事で5件の災害が発生しました。これらの要因としては、経験不足や危険予知の低下、安全確認を他人任せにする傾向があると考えられることから、組合員一人ひとりが安全意識の向上を図る上で、積極的にリスク予知行動を実践する必要があります。今年度も引き続き「基本ルールの遵守徹底による労働災害撲滅」を最重点実施項目として、各種教育、安全パトロール等の実施により安全・施工品質向上に向けた取り組みを推進します。

事業主の方には、組合方針、自社の事業運営方針等を従業員に周知徹底すると共に、安心して働ける職場環境の実現に向けた取り組みをお願いします。

現在、全日電工連では新たな取り組みとして、「持続発展する工業組合」を目指し電工組ワーキンググループの設置を推進しています。設置の目的は、「後継者不足」や「組合員減少」など組合が抱える喫緊な課題解決に向けた提案を行い、「組合のあるべき姿」を実現するための組織です。問題点を可視化し、具体的な対応策を提案する役割を担います。当組合に於いても持続的発展と組織基盤強化につながる事業として、電工組改革ワーキンググループの設置に向けた取り組みを検討します。

青年部を中心に実施している業界理解促進交流事業「高校生との意見交換会」は、「業界の認知」と「若年層の入職拡大」において重要かつ意義ある活動であり、引き続き実施し電気工事業界の実態や魅力を発信していきます。また、今年10月、福島県福島市で開催されます「第35回電気工事業全国大会」への青年部、女性部の参加を支援してまいります。

その他、従前から行われております諸事業については、組合員各位のご協力の下、成果があがり組合運営の充実がなされるよう取り組みを進めていく考えであります。

我が国経済は、長引く新型コロナウイルス感染症の影響に加え物価の高騰や自然災害の発生、デジタル人材不足や事業承継問題等、課題が山積し大変厳しい状況が続いています。電力の安定供給を担いインフラを支える使命を持つ電気工事業界として一層ウィズコロナ時代に的確に対応することが肝要であると考えています。

今年度も引き続き組合員の皆様方の尚一層のご支援ご指導をお願い申し上げます。

重 点 目 標

1. 基本ルールの遵守徹底による労働災害撲滅

- (1) 高所作業車が使用できない現場での梯子・脚立の使用禁止（配電施工者）
- (2) 内線工事における高所作業では原則「立ち馬」を使用し、やむを得ず梯子作業を実施する場合は可能な限り二人以上で梯子の上下固定を確実に実施する
- (3) 高所作業における墜落防止措置の確実な実施
- (4) 作業前や作業区分変更時におけるKY・TYの確実な実施（一人KY含む）とリスク予知活動の積極的な導入
- (5) 低圧充電作業（測定含む）における低圧ゴム手袋着用徹底、停電作業における検電による停電確認の徹底
- (6) 内線施工者パトロールの強化実施（高所作業の実施状況、低圧ゴム手袋着用状況の確認）

2. 法令遵守と風通しの良い職場環境づくり

- (1) 声掛け、職場懇談会、教育受講者と事業主との面談による成果の確認等コミュニケーションの活性化
- (2) 事業主からの訓示による従業員への行動規範の再徹底
- (3) 各種研修会、教育の機会を捉えた行動規範の再徹底と法令教育の実施

3. 施工品質の向上

- (1) 班長の目視による確認の徹底
- (2) 目視が困難な場合は班員に指示し、報告を受けること「復唱復命」の徹底
- (3) 自問自答、指差呼称による班員一人ひとりの「一動作一確認」の徹底
- (4) 工事における交通法規の遵守徹底（道路使用許可・電柱運搬等）
- (5) トラブル事例と再発防止策の理解促進教育の実施
- (6) お客さま工事不良通知施工者に対する再発防止教育の実施
- (7) 一般用電気工作物調査員のスキルアップ

4. 施工力の確保

- (1) 積極的な声掛けによるモチベーション向上とOJTによる技術指導
- (2) 工具、機械への効果的な設備投資（高経年機材の適切な更新等）
- (3) 各種教育の実施（県工組大-新入社員教育、連合会大-若年者教育、中堅社員教育）
- (4) 高校生との意見交換会による電気工事業界への理解促進活動の推進

5. 交通安全・自主健康管理の推進

- (1) 事業主、安全管理者による安全運転指導の実施
- (2) 安全運転管理者（代行者）による運転者の運転前後の酒気帯び確認の実施
- (3) 特殊車両における特定自主検査（年1回）の確実な実施
- (4) 車両始業前点検の励行と交通KYによる防衛運転の実施
- (5) 定期健康診断の積極的受診と管理監督者の声掛けによるメンタルヘルスケアの実践

6. 組合運営の活性化

- (1) 組合改革ワーキンググループの創設
- (2) 員外施工者への組合加入の促進
- (3) 青年部・女性部活動との連携強化
- (4) 各種諸行事への積極的参加（石川県電気安全協会・内線工事研究会等）
- (5) ほくりく地域産業企業年金基金事業への協力支援

7. 正しい原子力知識の啓発と原子力発電への理解

- (1) 「北陸地区電気エネルギーを考える会」への協力支援
- (2) 電力会社並びに関係官公庁諸団体との連携、一層の緊密化

第61回 優良従業員表彰式

70名を表彰

恒例の優良従業員表彰式が5月31日(水)、総代会に先立って金沢市の金沢東急ホテルで行われた。

表彰式は今年で61回目。表彰式には馳県知事、山出県中小企業団体中央会会長ら来賓が出席、米沢理事長は「努力を重ねてきた個々の輝きが企業の成長に繋がり、組合の活力となる。組合の理事長として心から感謝を申し上げる。われわれは、社会基盤を支えているというプライドを持てる仕事だ。働き方改革を成し遂げて環境を整備して、この業界をより魅力あるものとしていきたい。」と挨拶した。

馳知事、山出会長、米沢理事長から受賞者に表彰状、記念品が贈られ、労をねぎらった。受賞者を代表して別所茂樹(上村電建株)が力強くお礼の言葉を述べた。

表彰を受けたのは次のみなさん。

(敬称略、カッコ内は勤務先)



石川県知事賞(勤続30年表彰)を受賞して



今出電気商会(株)
中谷 則久

この度は「石川県知事表彰」(勤続30年表彰)を賜り、厚く御礼申し上げます。

私が入社した動機は知り合いに電気工事をしている人がいて、誰にでも出来る仕事だから心配すると言われていたことが電気工事業界に入るきっかけになりました。それから早や30年があつという間に過ぎました。辞めようかなと思ったこともありましたが、今は誇りを持って仕事をしています。

今後も体力の続く限り健康維持と安全作業に従事し、怪我をしない様に励んで行きます。

まだまだ知らない事が出てくると思うので、これからもご指導くださいますようお願い申し上げます。

石川県中小企業団体中央会会長賞(勤続30年表彰)を受賞して



北都電設工業(株)
谷 一哉

この度、石川県中小企業団体中央会会長表彰勤続30年を賜り御礼申し上げます。私は、当会社に入社し、電気・電気通信工事の現場作業に携わったのですが、当時は右も左もわからず、上司や諸先輩方に大変ご迷惑ばかりお掛けしていたのを思い出します。

近年のコロナ禍による働き方改革やDX推進化において、電気業界も大変大きな改革の時を迎えています。電力の安心・安全・安定した供給は昔も今もこれからも変わらず求められます。また施工品質の向上・災害時の緊急対応なども求められることと思います。

今後も人材の育成・技術技能の伝承に力を注ぎ、電力インフラを支えているという強い誇りと自負を持って、会社や電気業界の更なる発展の為、微力ではございますが全身全霊を尽くし努めていきたいと存じます。

これからもご指導下さいますようお願い申し上げます。

◆石川県知事賞

□勤続30年表彰（4名）

○金沢本部（1名）

別所茂樹（上村電建株）

○加南本部（3名）

藤島小百合（秋田電気工事株）

中谷則久（株今出電気商会）

カスティジョ島袋ファンカルロス
（株上伸電機）

◆石川県中小企業団体中央会会長賞

□勤続30年表彰（1名）

○金沢本部（1名）

谷一哉（北都電設工業株）

◆石川県電気工事工業組合理事長賞

□勤続20年表彰（16名）

○金沢本部（12名）

西村仁志（株つなごう電気）

鈴木啓太（米沢電気工事株）

曾山浩一郎（ ）

山野隆幸（ ）

松田敏照（ ）

村本佳隆（野沢電気工事株）

崎出悠司（株柚木商事）

北村要（株大地電業所）

黒木聡（北陸電設株）

中西光広（シグマ電機株）

宮嶋正樹（株テイク）

佐藤茂一（ ）

○能登本部（4名）

田島信昭（藤井電気工事株）

小島秀樹（稲垣電機株）

薄井克弘（侑若葉電気商会）

薄井良世（ ）

□勤続15年表彰（12名）

○金沢本部（7名）

小寺真平（米沢電気工事株）

竹本枝里（ ）

若杉梨恵（ ）

笥一洋（ ）

野村隆之（ ）

西村知修（株大地電業所）

安田隆治（石川県電気工事工業組合）

○能登本部（5名）

川田涼太（桜井電気工事株）

杉野優（坂室電機株）

平田優樹（侑漆原電気商会）

下根秀俊（珠洲電気工事株）

黒田哲博（株旭電機商会）

□勤続10年表彰（37名）

○金沢本部（23名）

鴨瀬渡（株後山電機）

田島要（ ）

佐藤祐司（米沢電気工事株）

白崎祐太（ ）

笹倉仁志（ ）

中井隆太（ ）

河上勇（ ）

小野塚亘（ ）

千葉博美（ ）

居田将宏（ ）

浜博之（ ）

奥村 康平 (第一電機工業株)
 寺田 翔一 (")
 嶋 亮輔 (")
 田中 暁大 (")
 萩原 成海 (成瀬電気工事株)
 中本 博之 (株柚木商事)
 川合 鷹光 (株大地電業所)
 佐久間 貴啓 (有さかでん)
 南 佳希 (北陸電設株)
 林 大介 (吉本電興株)
 中出 智明 (株テイク)
 松川 功和 (")

○能登本部 (8名)

中村 郁 (有中島電気工事)
 宮崎 真也 (ななか電気株)
 平野 冬馬 (株光陽電設)
 桶本 泰司 (藤本電機株)
 七海 高生 (")
 森口 一光 (有若葉電気商会)
 梅田 勉 (藤井電気工事株)
 宮川 智行 (")

○加南本部 (6名)

油 慎一 (東本電気株)
 前田 裕輔 (秋田電気工事株)
 吉崎 琢磨 (")
 佐々木 亨 (株今出電気商会)
 湊 春之 (山口電設株)
 油本 昭子 (石川県電気工事工業組合)

	金沢	能登	加南	計
知事賞30年	1	0	3	4
中央会長賞30年	1	0	0	1
理事長賞20年	12	4	0	16
同 15年	7	5	0	12
同 10年	23	8	6	37
計	44	17	9	70



石川県電気工事工業組合「女性部」設立

今年3月3日のひな祭りの日に、石川県電気工事工業組合女性部が設立した。全国で11番目となり、北陸では福井県に次いで設立となった。

16社から経営者、技術者、事務担当者など20名の加入で、女性部が発足した。設立総会では、事業計画などを審議したほか、女性部長には中村志保氏（㈱ナカタケ）が就任した。設立総会後には、日本舞踊 宗家藤間流の師範、藤間 恭氏とフリーアナウンサーの戸丸彰子氏によるインタビュー形式で「私の人生～踊りが教えてくれたこと～」と題する記念講演が行われた。

また、記念講演後には、宮本参議院議員、石川県、北陸電力、全日電工連女性部、北陸各県工組などから来賓が出席し設立式典が開催された。米沢理事長からは、「百匹目の猿現象」を例に電気工事業界という男世界の考え方を变えるのは、女性しかいない、女性部が早く成長し助けていただけるためにも応援していきたい、と挨拶があった。

すでに全国では13工組（4/30現在）で、女性部が設立されており、全国の女性部と連携しつつ、青年部とも連携しながら、活動していく。今後の電気工事業界の発展に期待したい。



記念式典で登壇した女性部員



女性部ロゴマーク



記念講演

3 本部、全体会議

金 沢 本 部

全体会議開催 5月19日(金)
於 金沢東急ホテル

金沢本部全体会議は、金沢東急ホテルに於いて、米沢理事長ら役員のご出席の下、103名が出席し開催されました。



◆令和5年度 重点目標

「安全基準作業手順の徹底・法令遵守し、
ゼロ災害を目指す！」

(1) 労働災害の防止

- ・指差呼称による一動作一確認の徹底
- ・災害リスクの低減と不安全行動防止のより一層の強化
- ・目配り、気配り、思いやりのある行動

(2) 経営基盤の安定化

- ・人づくり 人材確保と育成に合理的で有効な方策
- ・高校生との意見交換の継続
業界理解促進交流事業については、青年部及び女性部が中心になり将来の人材確保対策として実施
- ・新規組合加入者、事業承継への支援

(3) 電気工事の施工品質の向上

- ・内線工事施工品質の向上のより一層の強化（計器取付時の誤結線撲滅、計器取付予定日の厳守）
- ・工事技術の向上により第三者損害賠償事故の撲滅（埋設物、埋設配管の調査確認）
- ・北陸電力(株)様、北陸電力送配電(株)様との意見交換

(4) 配電工事施工体制の強化

- ・企業統治（ガバナンス）強化による外線・引込線及び内線の工事技術の向上
- ・自主検査の徹底により不良工事の撲滅、人材育成教育の充実と技能継承の強化

(5) 営業分野拡大による需要開拓

- ・「製・販・工需要開発会議」の継続実施
- ・保守センター業務処理の迅速な対応とフォロー

(6) 省エネルギー機器の推奨、地球環境保全の意識高揚

- ・金沢市E S C O事業維持管理の継続
- ・脱酸素社会に向けての原子力発電の啓蒙
- ・EV充電設備「EV工事プロ」の推進

(7) 地域社会への貢献

- ・電気使用安全月間運動に於ける一般需要家に対する効果的なPR活動（青年部活動、金沢市の街路灯清掃、小学生を対象としたエレキスクール）

(8) 組合員意識の啓発、PR、広報活動

- ・組合ホームページの充実
- ・高校生との意見交換、業界のPR
- ・女性技術者の人材確保と育成

内線工事優良施工者として、上位3社が表彰されました。

- | | |
|------|-------------|
| 最優秀賞 | (株)ユナイテッド電工 |
| 優秀賞 | (株)リョウ |
| 優良賞 | 東田電機工業(株) |

能登本部

能登本部では、4月20日(木)に和倉温泉「加賀屋」会議室において開催致しました。

当日は米沢理事長、田中電力部長、田中安全部長、時長事務局長ご出席の下に、組合員55名の参加者により議案の審議が行われました。

尚決議の結果、賛成多数となり以下の全議案を可決と致しました。



第一号議案

- イ. 令和4年度事業報告について
- ロ. 令和4年度収支決算報告承認の件について

第二号議案 役員任期満了による改選の件

第三号議案

- イ. 令和5年度事業計画(案)について
- ロ. 令和5年度予算(案)承認の件について

能登本部安全衛生ポスター標語 優秀作品者表彰(記念品授与)

○令和5年度重点目標の部

珠洲電気工事㈱

声掛けを ナイスキャッチで 0災害

○スローガンの部

珠洲電気工事㈱

慌てずに 基本ルールを 再確認

○行動目標の部

珠洲電気工事㈱

一動作 基本厳守で 無災害

◆基本目標

「基本ルールの順守徹底による労働災害撲滅」

◆重点目標

1. 組合運営の充実・職場の活性化

- (1) 人材の育成と高齢化対策の実施
- (2) 組合互助会・第三者損害賠償事故などの撲滅
- (3) 定期健康診断の実施
- (4) 青年部、女性部活動の育成と支援

2. 安全意識の高揚・労働災害及び公衆災害の撲滅

- (1) 職場作業環境に的確な自主安全管理活動の実施
- (2) 事業所訪問及び現場パトロールの実施
- (3) 労働災害及び交通事故の対策強化
- (4) 積極的な声掛けによるコミュニケーション強化

3. 配電工事技術の向上と不良工事の撲滅

- (1) 配電工事新技術・工法及び新作業手順の的確な対応
- (2) 配電請負工事の施工者評価制度の管理徹底
- (3) 自主検査・後見点検の徹底によるヒューマンエラーの撲滅
- (4) 自主・交差パトロール時での的確な助言と指導事項等の徹底

4. 電気工事新技術の取得・経営意識の高揚

- (1) 各種資格取得等の支援
- (2) 第二種電気工事士・第一種電気工事士の育成
- (3) 施工証明書の活用と提案型営業への構築
- (4) 施工品質向上に向けた取り組みと接地不良工事の撲滅

5. 電気設備保守とPRの促進

- (1) 保守管理業務の拡大と点検業務の完全実施
- (2) オール電化機器の販売促進
- (3) 電気使用安全月間における電気設備無料相談所等の設置
- (4) お客様工事不良通知設備の改修強化

6. 広報活動による組合意識の啓蒙

- (1) 電気使用安全月間における電気使用によるPR
- (2) 組合活性化及び組合のPR
- (3) エネルギーを取り巻く環境への理解強化

加南本部

5月23日(火)

「のとや(栗津温泉)」で開催



5月23日「のとや」大会議室において、米沢理事長・田中電力部長らのご出席の下開催し、組合員52名が出席しました。

《感謝状贈呈》(敬称略)

組合員として20年間組合運営に貢献された方々
(加入年月日：平成14年4月1日～
平成15年3月31日)

エイシン電気 代表 面 栄四郎
フジデンキ 代表 藤本 勉

《議事》

第一号議案

- イ. 令和4年度事業報告の件
- ロ. 令和4年度活動費収支計算書報告の件

第二号議案

令和5・6年度総代の報告ならびに役員・組織の一部変更(案)承認の件

第三号議案

- イ. 令和5年度事業計画(案)承認の件
- ロ. 令和5年度活動費予算(案)承認の件

令和5年度重点目標

1. 自主安全管理活動による基本作業の順守徹底・安全意識高揚からの「ゼロ災」の達成
2. 配電工事における安全最優先と基本ルール順守の徹底を基本とした施工品質確保と効率化の推進
3. 内線工事における後見点検の完全実施による不良工事の撲滅
(特に計器工事と接地工事)
4. 電気工事業界の将来を見据えた認知度向上と就労支援の促進
 - ・SDGs(持続可能な開発目標)を意識した事業活動の構築と実施
 - ・組合組織の体制強化に向けた組合加入促進対策の立案と実施
5. 災害時の迅速な対応と体制の強化
6. 経営力強化の支援と福利厚生制度説明会などの各種講習会の開催と積極的な参加
7. 電気工事士試験準備講習会の実施による資格取得支援
8. 他設備産業との連携強化による業界の地位向上と分離受注拡大
9. 地域行事への積極的参加と地域情報の収集
10. 北陸電力(株)および北陸電力送配電(株)との情報交換と相互協力による連携強化
11. 各委員会・各種行事の参加率向上による組合活動の活性化
12. 女性など電気工事士の多様化を目指した電気工事業界の就労支援

電気使用安全月間行事

◇金沢本部

「百万石通り街路灯清掃」

今年も百万石まつり一週間前に恒例となった、百万石通り街路灯清掃を青年部22名の参加で行った。安全作業を意識しながら、道路のごみ拾いと汚れた街路灯を一基ずつ丁寧に磨いていった。ま

た、村山金沢市長も二年連続となる街路灯清掃に従事したほか、金沢本部役員も道路のごみ拾いを行いまつりに備えた。



〈今後の行事予定〉

- 7月5日 内灘町総合公園街路灯清掃（河北支部）
- 7月28日 内線工事現場臨時施設パトロール実施（金沢本部安全部）

- 8月5日 エレキスクール
- 8月26日 白山市内街路灯清掃（白山支部）

◇能登本部

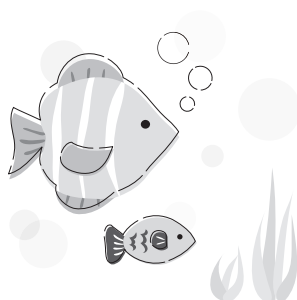
〈今後の行事予定〉

- サービス相談所の開設（定置）
日時：令和5年8月1日（火）～8月31日（木）
9：00～16：00
場所：当組合 能登本部
- 小学校児童高学年を対象にしたエレキスクールLED親子工作教室の開催（青年部）
日時：令和5年8月11日（金） 予定
9：00～11：30
場所：宝達志水町民センター アステラス
- キャラバン隊による巡回PR
（企画広報部会）
日時：令和5年8月11日（金）
9：30～11：00
場所：宝達志水町役場管内
内容：電気使用安全月間のPR
- 工事現場等パトロールによる指導
（内線安全部会）
日時：令和5年8月1日（火）～
8月31日（木） 日時未定
場所：当組合能登本部組合員の内線工事作業
現場等

◇加南本部

〈今後の行事予定〉

- 7月中 電気使用安全月間PR大型看板設置（加南本部会館外壁）
- 7月中 管内3市1町に電気用安全月間の趣旨説明と上記ポスターの配布
- 7月下旬 組合員に昨年度電気使用安全月間ポスターコンクール最優秀賞受賞作品ポスター配布
- 8月上旬 重要文化財の電気設備点検
- 8月1日 電気使用安全月間PR活動出発式（電気安全サービス）
- 8月6日 「エレキスクール in かが」（加賀市内小学生児童対象）電気安全使用のPR
- 8月中 車両による巡回PR、チラシ・リーフレット・ツール等の配布
- 8月中 「電気使用安全児童ポスターコンクール」管内小学生児童から月間PRポスター募集
- 8月中 内線作業現場の安全パトロールの実施、安全点検・電気災害防止PR



各本部だより

金沢本部

- 1月4日 仕事始め
- 1月12日 外線・引込線防保護具耐圧試験
(1/27迄)
- 1月13日 県選挙管理委員会
- 1月16日 県企画委員会
- 1月24日 羽咋工業高校生との意見交換会



- 1月18日 内工研大研修会白山会場
(白山市松任学習センタープララ)



- 北陸連合会安全管理指導員研修
- 1月19日 北陸連合会安全管理指導員研修
青年部役員会
- 1月20日 内工研大研修会津幡会場
(津幡町文化会館シグナス)



- 1月25日 内線防保護具耐圧試験
- 1月26日 内線防保護具耐圧試験
- 1月27日 金沢本部選挙管理委員会
- 2月2日 女性部会議
- 2月4日 県青年部新年会
- 2月9日 全体会議 (金沢東急ホテル)



- 本部役員会 (金沢東急ホテル)
- 2月14日 安全部パトロール・部会
- 2月15日 新加入者教育
- 2月16日 女性部発起人会
- 2月17日 組合班長教育 (外線)
電気安全協会安全パトロール
- 2月18日 組合班長教育
- 2月20日 配電委員会
電力保安教育
- 2月21日 外線班長資格更新教育 (設計業務・防
護管工事)
- 2月27日 県青年部役員会

- 2月28日 配電自動化資格更新教育
- 3月3日 組合女性部設立総会（東急ホテル）



- 3月4日 無停電ケーブルレントゲン検査①
- 3月8日 電力保安教育（応需）
- 3月10日 第一種電気工事士定期講習会
（県地場産業振興センター）
- 3月11日 無停電ケーブルレントゲン検査②
- 3月13日 若年者教育（呉羽）3/17迄
- 3月15日 内工研大研修会金沢会場
（いしかわ総合スポーツセンター）



- 3月16日 無停電1級資格更新教育
- 3月17日 県本部執行理事選挙告示日
- 3月22日 通知業者特別教育研修会
（金沢市異業種会館）



- 3月23日 女性部全体ミーティング
- 3月24日 金沢本部役員選挙告示日
青年部役員会
- 3月28日 県総務委員会
電力班長教育（外線班長）
- 3月31日 県本部執行理事立候補締切
金沢本部役員立候補締切
- 4月1日 青年部総会（ホテル金沢）



- 4月6日 電気安全協力会委員会（電力）
E S C O委員会
- 4月13日 DEN-UPサービス説明会



- 4月14日 女性部ランチミーティング
（ハイアットセントリック）
- 4月18日 監事会
電気安全協力会理事会（電力）
- 4月19日 金沢本部新旧役員会
（金沢東急ホテル）
- 4月24日 配電事業主会議
- 4月27日 青年部定例会
- 4月28日 常務会
新加入者試験
- 4月29日 第二種工事士（筆記）講習会①



- 4月30日 第二種工事士（筆記）講習会②
- 5月11日 金沢青年部定例会
- 5月12日 県青年部総会
（ハイアットセントリック金沢）
- 5月13日 第二種工事士（筆記）講習会③
- 5月14日 第二種工事士（筆記）講習会④
- 5月18日 県役員会（金沢東急ホテル）
- 5月19日 全体会議（金沢東急ホテル）
金沢本部新旧役員会
（金沢東急ホテル）
- 5月20日 第二種工事士（筆記）講習会⑤
- 5月21日 第二種工事士（筆記）講習会⑥
- 5月27日 百万石通り街路灯清掃



- 青年部部員交流会
- 5月31日 優良従業員表彰式・総代会
（金沢東急ホテル）
- 6月1日 電気安全協力会委員会（電力）
- 6月2日 内線新人教育講師打合せ
- 6月5日 外線・引込線合同部会
- 6月8日 青年部定例会
- 6月9日 北青協総会
（ホテルグランテラス富山）
- 6月12日 電気安全協力会研修会
（いしかわスポーツセンター）

県広報委員会
女性部 電力送配電様との交流事業



- 6月13日 内線新人教育①



- 青年部SNS講習会
- 6月14日 内線新人教育②



- 6月15日 内線新人教育③
無停電機材耐圧試験
- 6月16日 無停電機材耐圧試験
- 6月19日 計測器照合試験（上期）①
- 6月20日 計測器照合試験（上期）②
- 6月21日 計測器照合試験（上期）③
- 6月22日 計測器照合試験（上期）④
- 6月29日 県青年部役員会

能登本部

- 1月4日 仕事始め
- 1月10日 北陸電力挨拶巡回
- 1月10日～2月3日 計測器等照合試験
- 1月13日 選挙管理委員会（於：県本部）
- 1月16日 企画委員会（於：県本部）
- 1月18日 安全管理指導員研修会（於：羽咋市）
- 1月20日 新年会（於：和倉温泉あへの風）17名
- 1月21日 青年部役員会
- 1月24日 青年部高校生との意見交換会
（於：羽咋工業高校）



- 1月31日～2月1日 圧縮工具定期点検
- 2月1日 総代選挙告示
- 2月14日～24日 絶縁防保護具耐電圧試験
- 2月15日 総代選挙立候補締切
- 2月17日 外線班長研修会
（於：志賀町いこいの村）
- 2月20日 配電委員会（於：県本部）
- 2月22日 内線工事研究会研修会
（於：穴水ふれあい文化センター）

- 2月24日 内線工事研究会研修会
（於：七尾サンライフプラザ）



- 3月1日 県執行理事選挙告示
- 3月3日 女性部設立記念式典
（於：金沢東急ホテル）
- 3月15日 県執行理事選挙立候補締切
- 3月17日 支部長会議、役員会
” 活線認定新教育
- 3月24日 無停電機材取扱者資格1級認定教育・
配電自動化工事者認定教育
- 3月27日 配電委員会（於：県本部）
- 3月28日 総務委員会（於：県本部）
- 4月8日 青年部総会（於：キャッスル真名井）



- 4月12日 安全協力会推進委員会
- 4月12日～26日 間接活線工具耐電圧試験
- 4月18日 監事会（於：県本部）
- 4月20日 全体会議（於：和倉温泉加賀屋）55名
- 4月24日 配電工事事業主会議（於：ホテル日航）
- 4月28日 常務会（於：県本部）

4月29日、5月13日、20日、27日

第二種電気工事士（学科）受験準備講習会



5月10日～25日 高所作業車(バケットライナー、第3ブーム)耐電圧試験

5月11日 引込線施工者会議

5月15日～17日 外線引込線施工者新入社員教育
(於：県本部)

5月18日 県役員会 (於：金沢東急ホテル)

5月19日 外線施工者会議

〃 青年部役員会

5月31日 総代会、優良従業員表彰式
(於：金沢東急ホテル)

6月2日 内線新入社員教育打合せ会議
(於：県本部)

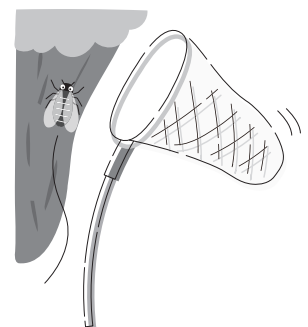
6月5日 連合会常務会・総会 (於：富山市)

6月12日 広報委員会 (於：県本部)

6月14日～28日 仮設開閉器・リードケーブル耐電圧試験

6月15日 内線工事施行者新入社員教育
(於：県本部)

6月19日 内線工事研究会委員会 (於：北電七尾)



加南本部

- 1月4日 組合業務仕事始め
- 1月6日 加南本部新年安全祈願祭・新年顔合わせ・年始挨拶回り
- 1月11日 安全協力会新年安全祈願祭
小松支部：本折日吉神社
加賀支部：加賀江沼神社
- 1月12日 トルクドライバー校正試験 加賀支部
43本 /21社（内不良0本）
- 1月18日 連合会安全管理指導員研修会
- 1月19日 組合員研修会
「当社グループを取り巻く経営環境」
講師：北陸電力(株)小松支店長
奥 真司氏
- 1月19日 加南本部新年全体会議
「ゆのくに天祥」 38名



- 1月23日 安全サービス調査業務内部監査
- 1月24日～2月17日 内工研クイズ 129名 /25社
- 1月25日 小松労働基準協会 定例理事会
- 1月26日 小松工業高校意見交換会
寒波により中止
- 1月26日 加賀支部役員会 割烹「河口」 4名
- 1月30日 加南本部選挙管理委員会 7名
- 1月25日 第1回小松支部世話人会 4名
令和4年度総会打合せ
- 2月2日 令和4年度加賀支部総会
「ゆのくに天祥」
令和4年度事業報告・会計報告
次期総代推薦者選出



- 2月3日 圧縮工具メーカー点検
- 2月6日 小松商工会議所 小規模企業振興委員連絡会
- 2月9日 令和4年度小松支部総会
「ホテルビナリオ小松」
令和4年度事業報告・会計報告
次期総代推薦者選出



- 2月14日 第2回安全委員会 13名
- 2月15日 安全協力会 交差パトロール
- 2月16日 配電工事保安教育（防護管・営巣巡視）
外線工事施工者
- 2月17日 外線施工者班長研修会
- 2月21日～3月6日 活線作業認定資格更新教育
計6回 79名



2月24日 小松市照明灯LED化推進事業検討会
 2月28日 小松労働基準協会 理事会
 2月28日 加賀労働基準協会 理事会
 3月6日 第2回技術委員会（役員・青年部代表
 会議） 5名
 3月6日～10日 活線防保護具耐圧試験
 3月7日 加南本部役員選出選挙
 3月8日 災害復旧訓練打合せ 12名
 3月9日 小松市照明灯LED化推進事業検討会
 3月14日 配電工事特別安全パトロール
 3月16日 災害復旧訓練
 電力小松電柱置場 50名



3月22日～24日 間接活線工具耐圧試験
 3月24日 電気記念日記念式典
 優良電気工事業者表彰
 田中電機 代表 田中哲弥
 傘寿功労者表彰
 (有)向電気商会 代表取締役 向良雄
 丸若電気商会 代表 若林邦宏
 3月24日 石川県電気安全協力会小松地区本部
 事務局会議
 3月24日 低圧検満施工者会議

4月10日 石川県電気安全協力会小松地区本部
 事務局会議
 4月11日 第1回執行部会 6名
 運営諸般について
 4月13日 第1回総務委員会 6名
 運営諸般について
 4月14日 トルクドライバー校正試験
 小松支部 63本（内不良0本）
 4月14日 第1回安全委員会 15名
 4月14日 第1回配電災害対策委員会 11名
 運営諸般について
 4月17日～19日 仮設開閉器・リードケーブル耐
 圧試験
 4月18日 労働保険年度更新事務受付 46社
 4月18日 石川県電気安全協力会小松地区本部
 理事会
 4月21日 小松労働基準協会
 理事懇談会・労務福祉委員会
 小松商工会議所
 4月21日 第1回役員会 19名
 運営諸般について
 4月22日 令和4年度青年部総会
 吉田屋山王閣 12名
 4月24日 県配電事業主会議 ホテル日航金沢
 4月25日 小松市照明灯LED化推進事業検討会
 5月8日～26日 全14回
 第二種電気工事士筆記試験講習
 受講者2名
 5月8日～12日 高所作業車耐圧試験
 5月8日～12日 圧縮工具圧力試験
 5月11日 小松能美木造建築工事安全対策連絡協
 議会 役員会・監査会
 5月15日～17日 外線引込線施工者新入社員教育
 5月17日 加賀市防火協会 定例総会
 5月19日 小松労働基準協会 健康診断団体会議
 5月23日 令和5年度加南本部全体会議 のとや
 ・令和4年度事業報告、決算報告
 ・令和5年度事業計画、予算承認



- 5月24日 小松支部世話人会 4名
「クリーンビーチいしかわ in こまつ」
の参加について
- 5月26日 建災防加賀 役員会
- 5月30日 加賀市総務部長面談 加賀支部 7名
- 5月31日 第61回優良従業員表彰式
金沢東急ホテル
- 5月31日 第82期通常総代会 金沢東急ホテル
- 5月31日 小松労働基準協会 三役会
- 6月1日 小松労働基準協会 安全衛生委員会
- 6月1日 石川県電気安全協力会小松地区本部
事務局会議
- 6月2日 小松労働基準協会 定例理事会
- 6月8日 小松市照明灯LED化推進事業検討会
- 6月10日 クリーンビーチいしかわ in こまつ
安宅海岸清掃 小松支部23名



- 6月13日 小松能美木造建築工事安全対策連絡協
議会 通常総会
- 6月14日 建災防加賀分会 通常総会
加賀分会長表彰：(株)荒河電気商会
- 6月15日 小松地区本部 安全研修会
安全表彰
【個人】辻 秋浩 (有)平専電工
【団体】
目標5年(7社)：
(有)川向電機商会、EKでんき、
荻野電気工事(株)、(株)SHIMODEN、
(株)塩村電気工事、(有)谷電気工事、
(有)タニグチムセン
目標4年(1社)：中谷電気工事(株)
目標3年(1社)：タボタ電機(株)
目標2年(1社)：竹内電気工事(株)
目標1年(0社)：



- 6月17日 第76回北電工組親睦ゴルフコンペ
片山津ゴルフ倶楽部西コース 23名
- 6月19日 加賀労働基準協会 理事会
- 6月23日 第1回企画経営委員会
令和5年度事業計画について
- 6月28日 第2回配電災害対策・第2回安全合同
委員会
令和5年度事業計画について
- 6月29日 第1回電設委員会
令和5年度事業計画について

●●●●● 青年部だより ●●●●●

県青年部総会

令和5年5月12日(土)にハイアットセントリック金沢にて、総会を開催した。

- ・令和4年度事業報告(案)及び支出報告(案)承認の件
- ・役員改選(案)の承認の件
- ・令和5年度事業計画(案)及び支出予算(案)承認の件

の3議案が審議され、すべて議案通り、承認可決された。

承認された役員は以下のとおり

役職	氏名	事業所名	本部
部長	中村 栄太郎	(株)明生電気商会/米沢電商(株)	金 沢
副部長	高 桑 寛 治	エレックジャパン(同)	金 沢
	本 山 大 輔 川 向 尊	電化ショップモトヤマ (有)川向電機商会	能 登 加 南
理事	澤 田 浩 基	(有)沢田電興社	金 沢
	嶋 田 愛 彦	(株)リョウ	金 沢
	米 沢 有 弘	米沢電気工事(株)	金 沢
	高 井 主	(株)ツカサ電工	金 沢
	櫻 井 裕 介	(有)川崎電気商会	金 沢
	瀬 戸 優 弥	第一電機工業(株)	金 沢
	酒 井 太 志	(有)さかでん	金 沢
	稲 垣 健	稲垣電機(株)	能 登
	大 川 隆 史	大川電気商会	加 南
	山 田 覚	山田電気工事	加 南
監事	東 本 大 志	東本電気(株)	加 南
	安 部 良	(有)安部電気工事	金 沢
	小 川 省 吾 秋 山 和 也	(有)小川電設 秋山電工	能 登 加 南
顧問	今 村 強	今村デンキ	金 沢
	大 地 正 喜	(株)大地電業所	金 沢
	森 川 昌 志	ヤスイ電気(株)	金 沢
	崎 田 武 志 薄 井 克 弘	(株)光陽電設 (有)若葉電気商会	能 登 能 登

新加入組合員の紹介

《金沢本部》

【事業所名】株式会社 浜崎電工



- 所 属：金沢本部西部支部
- 加 入 日：2023年1月30日
- 事業所名：株式会社 浜崎電工
- 住 所：金沢市示野町ホ15番1
- 代表者名：浜崎 智尚
- 従業員数：6人
- 主な事業内容：電気工事業

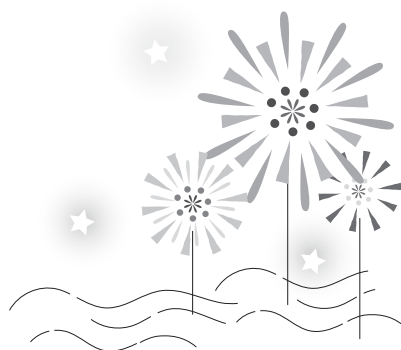
- コメント：すべての人が明るい笑顔で生活をして過ごせることが、私たちの大切な使命です。「電気工事のエキスパート」として責任をもって電気工事の業務を遂行し、従業員一丸で頑張っています。
- また当社は、従業員を大切にすることで、仕事に喜びを感じる企業環境を押し進め、お客様から信頼され、社会に貢献できる企業を目指しています。

【事業所名】株式会社 電気屋 達



- 所 属：金沢本部西部支部
- 加 入 日：2023年6月26日
- 事業所名：株式会社 電気屋 達
- 住 所：金沢市二口町ロ72-1
- 代表者名：南 達也
- 従業員数：2人
- 主な事業内容：電気工事業

- コメント：主に住宅電気工事業を行っています。
- どうぞよろしくお願ひ致します。



新規採用職員を紹介

《金沢本部》



福井 敏弘

昨年、7月から計器取次窓口で勤務しております、福井敏弘と申します。

以前、北陸計器工業(株)で計器管理業務に従事していたこともあり、施工者さまとコミュニケーションをとりながら、より確実に、効率的に計器取次を行ってまいります。どうぞ宜しくお願い致します。

(採用年月日：令和4年7月1日)



政島 啓志

昨年、9月から計器取次窓口で勤務しております、政島啓志と申します。

これまで北陸電力送配電(株)で勤務してきた経験と知識が活かせる職場でもあり、少しでも皆さまのお役に立てるよう取り組んでまいりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

(採用年月日：令和4年9月1日)



沖野 拡

昨年、10月から計器取次窓口で勤務しております、沖野 拡と申します。

これまで従事してきた北陸計器工業(株)での計器知識と品質管理業務経験を生かし、施工者の皆さまへのスムーズな計器取次に努めたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。

(採用年月日：令和4年10月1日)



山 博之

今年3月で北陸電力(株)を退職し、4月1日より金沢本部で資材担当業務を務めさせていただくことになりました、山 博之と申します。前職では最初は配電業務をしていましたが途中より営業担当に配属になり長い間、配電業務を離れておりました。以前と資材や工法が変わっているので早く覚え戦力になれるよう頑張りますので、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。趣味は、バレーボールと切り絵です。興味のある方はお声かけください。

(採用年月日：令和5年4月1日)

《加南本部》



真田 尚

令和5年7月1日より、加南本部で業務課長として勤めさせていただいております真田尚(さなだひさし)

と申します。

組合員の皆様から信頼され、事業の発展に貢献できるよう、微力ではございますが精一杯頑張りますので、ご指導のほどよろしく願いいたします。

(採用年月日：令和5年7月1日)



荒井 敏章

令和5年7月1日より、加南本部で勤めさせていただいております。

荒井敏章と申します。

組合員の皆さまから信頼されるとともに微力ながらバックアップできるよう頑張っていきますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

(採用年月日：令和5年7月1日)

法改正に伴う 登録電気工事業者『標識』修正の必要性について

★2023(令和5)年3月20日付で高圧ガス保安法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う電気事業法施行規則等の改正が施行されました。

- ▶ この改正では、小規模な太陽光・風力発電設備の保安規制が見直しとなり、太陽電池発電10kw～50kw未満、風力発電20kw未満を「小規模事業用電気工作物」とし、技術基準適合維持義務等の新たな規制が課されることとなりました。

★この「小規模事業用電気工作物」という定義がなされたことにより、電気工事士法および電気工事業の業務の適正化に関する法律(電気工事業法)において、電気工事の種類について名称の変更がなされております。

- ▶ これまでは電気工事業法に関わる電気工事業者登録において、電気工事の種類は「自家用電気工作物」と「一般用電気工作物」であったものが、「一般用電気工作物」については、「小規模事業用電気工作物」も含む意味合いで、「一般用電気工作物等」と、【等】という字を追記した名称に変更されております。

※ なお、これらの改正により「小規模事業用電気工作物」は、事業用電気工作物のひとつとして解釈されますが、「小規模事業用電気工作物」の工事については、これまでの「一般用電気工作物」の範囲での工事で、第二種電気工事士資格の範囲内であり、変更ありません。

➔ この改正に伴い『電気工事業法第25条および同施行規則第12条に基づく「標識の掲示」』で営業所および施工場所への掲示が電気工事業者の義務となっている

「登録電気工事業者『標識』」の修正が必要 となります。

※ 修正は、「一般用電気工作物」のみ、または「一般用電気工作物と自家用電気工作物」で登録している業者が対象です。「自家用電気工作物」のみで登録している業者は、修正の必要はありません。

(修正例)

登録電気工事業者登録票		登録電気工事業者登録票	
登録番号	〇〇県知事登録 第0000000号	登録番号	〇〇県知事登録 第0000000号
登録の年月日	令和5年3月20日	登録の年月日	令和5年3月20日
氏名又は名称	株式会社全日電工連電気工事	氏名又は名称	株式会社全日電工連電気工事
代表者の氏名	全日 太郎	代表者の氏名	全日 太郎
営業所の名称	株式会社全日電工連電気工事	営業所の名称	株式会社全日電工連電気工事
電気工事の種類	一般用電気工作物	電気工事の種類	一般用電気工作物等
主任電気工事士等の氏名	全日 太郎	主任電気工事士等の氏名	全日 太郎

※屋外に掲示することが多いため色褪せのない(耐光※)ように、剥がれないように、留意したうえで、掲示物の上から、シール等貼付での修正でも可とのこと。

※(ご参考)事務用品として、数多く利用されている「テプラ」からも耐光テープが販売されています。

熱中症



予防行動を とりましょう!



熱中症警戒アラート

をチェック!

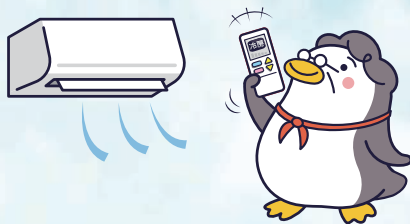


見守り・声かけ!



適切に

エアコンを使おう!



こまめに

水分・塩分を補給!



熱中症は誰でも危険! 油断は大敵です!

より詳しい情報は

熱中症予防情報サイト 検索



Refresh!
もっと自分らしい
働き方
休み方



自分らしい夏休みで
素敵な体験をたくさんしよう。

年次有給休暇 を上手に活用し働き方・休み方を見直しましょう

- 「年次有給休暇の計画的付与制度」を導入しましょう。
- 年次有給休暇付与計画表による個人別付与方式を活用すれば休暇の分散化にもつながります。

 厚生労働省 | 都道府県労働局 | 労働基準監督署
●働き方・休み方改善ポータルサイト <https://work-holiday.mhlw.go.jp/>
年次有給休暇取得促進特設サイト 

年休取得促進
特設サイト▶ 

Refresh!

もっと自分らしい

働き方

休み方

年次有給休暇 を上手に活用し 働き方・休み方を見直しましょう

年次有給休暇の計画的付与制度を導入しましょう。

「年次有給休暇の計画的付与制度」とは、年次有給休暇の付与日数のうち5日を除いた残りの日数について、労使協定を結べば、計画的に休暇取得日を割り振ることができる制度です。この制度の導入によって、休暇の取得の確実性が高まり、労働者にとっては予定していた活動が行いやすく、事業主にとっては計画的な業務運営に役立ちます。

1) 日数 付与日数から5日を除いた残りの日数を計画的付与の対象にできます。

例1 年次有給休暇の付与日数が10日の労働者

5日	5日
事業主が計画的に付与できる	労働者が自由に取得できる

例2 年次有給休暇の付与日数が20日の労働者

15日	5日
事業主が計画的に付与できる	労働者が自由に取得できる

◎前年度取得されずに次年度に繰り越された日数がある場合には、繰り越し分を含めた付与日数から5日を引いた日数を計画的付与の対象とすることができます。

2) 活用方法 企業、事業場の実態に合わせたさまざまな付与の方法があります。

方式	年次有給休暇の付与の方法	適した事業場、活用事例
一斉付与方式	全従業員に対して同一の日に付与	製造部門など、操業を止めて全従業員を休ませることのできる事業場などで活用
交替制付与方式	班・グループ別に交替で付与	流通・サービス業など、定休日を増やすことが難しい企業、事業場などで活用
個人別付与方式	個人別に付与	年次有給休暇付与計画表により各人の年次有給休暇を指定

年次有給休暇の計画的付与に関する労使協定の例(個人別付与方式の場合)

〇〇株式会社と〇〇労働組合とは、標記に関して次のとおり協定する。

- 当社の従業員が有する〇〇〇〇年度の年次有給休暇(以下「年休」という。)のうち5日を超える部分については、6日を限度として計画的に付与するものとする。
なお、その有する年休の日数から5日を差し引いた日数が6日に満たないものについては、その不足する日数の限度で特別有給休暇を与える。
- 年休の計画的付与の期間及びその日数は、次のとおりとする。
前期=4月~9月の間で3日間 後期=10月~翌年3月の間で3日間
- 各個人別の年休付与計画表は、各期の期間が始まる2週間前までに会社が作成し、従業員に周知する。
- 各従業員は、年休付与計画の希望表を、所定の様式により、各期の計画付与が始まる1か月前までに、所属課長に提出しなければならない。
- 各課長は、前項の希望表に基づき、各従業員の休暇日を調整し、決定する。
- 業務遂行上やむを得ない事由のため指定日に出勤を必要とするときは、会社は組合と協議の上、前項に基づき定められた指定日を変更するものとする。

〇〇〇〇年〇月〇日

〇〇株式会社 代表取締役 〇〇〇〇

〇〇労働組合 執行委員長 〇〇〇〇

「一斉付与方式」「交替制付与方式」に関する労使協定の例は『年次有給休暇取得促進特設サイト』をご確認ください ▶



年休取得促進
特設サイト

年5日の年次有給休暇を確実に取得しましょう。

全ての企業において、年10日以上年次有給休暇が付与される労働者に対して、年次有給休暇の日数のうち年5日については、使用者が時季を指定して取得させることが必要です。

労使協定によって時間単位の年次有給休暇の活用もできます。

年次有給休暇の付与は原則1日単位ですが、労使協定を結べば、年5日の範囲内で、時間単位の取得が可能となります。労働者の様々な事情に応じた柔軟な働き方・休み方に役立ちます。

※分単位など時間未満の単位での取得は認められません。また、時間単位の年次有給休暇の取得分については、確実な取得が必要な5日間から差し引くことはできません。

2023年度 第一種電気工事士定期講習会開催予定表

開催月	開催予定日	曜日	予 定 会 場	申 込 先
8月	令和5年8月20日	水	石川県地場産業振興センター	(一社)日本電気協会 北陸支部
9月	令和5年9月6日	水	石川県地場産業振興センター	
9月	令和5年9月7日	木	七尾サンライフプラザ	石川県電気工事工業組合
10月	令和5年10月5日	木	七尾サンライフプラザ	
10月	令和5年10月31日	火	石川県地場産業振興センター	(一社)日本電気協会 北陸支部
12月	令和5年12月6日	水	石川県地場産業振興センター(本館)	石川県電気工事工業組合
12月	令和5年12月7日	木	石川県地場産業振興センター(本館)	
1月	令和6年1月18日	木	石川県地場産業振興センター(本館)	
3月	令和6年3月27日	水	石川県地場産業振興センター(本館)	

「確かな未来」が会社を変える。



で退職金。

「中退共」は中小企業が加入しやすい
国の退職金制度です。

毎年10月は加入促進強化月間です。

- ① 国の制度だから安全・安心!
さらに掛金の一部を国が助成します。
- ② 社外積立でラクラク管理!
管理や運用の手間がかかりません。
- ③ 掛金は全額非課税でオトク!
節税に加え、手数料もかかりません。

- パートタイマーさんも
ご加入いただけます。
- 他の退職金・企業年金制度等
とのポートビリティも可能です。
詳しくはホームページをご覧ください

中退共 検索

<http://chutaikyo.taisyokukin.go.jp/>

独立行政法人勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部 TEL(03)6907-1234 FAX(03)5955-8211

石川県電気工事工業組合「任意労災制度」

「2023年7月現在の内容です。」

～たいへん多数のご加入でご好評をいただいております～

任意労災制度(業務中のケガと病氣補償)
【業務災害総合保険】の特長

1. 団体契約なので個別にご加入いただくよりも割安です。
※50事業者以上の場合:事業者数割引が15%適用されます。
2. 従業員の方々からの **個別健康告知は不要**です。
3. 貴社の事業内容および売上高から保険料を算出します。
4. 保険料は**全額損金処理が可能**です。
※法人が契約者として、従業員全員(役員を含みます。)のために負担する保険料は全額が損金扱いとなります。
(法人税基本通達9-3-5.9-3-6の2を準用 2023年7月現在)
5. 業務中の**地震によるケガも補償**します。
(地震・噴火・津波危険補償特約セットの場合)
6. 高額化する労災訴訟への備えとして、
最高5億円(※)までの損害賠償責任に対応!
※損害賠償保険金の支払いにあたっては、労災保険の請求結果が必要です。
(注)事業内容によっては引受限度額が1災害最高3億円になります。
※弁護士費用等の争訟費用も補償します。

※この広告は保険商品の概要をご説明したものです。
詳細につきましては、パンフレットをご覧くださいか、
取扱代理店または引受保険会社にお問い合わせください。

◎このような場合に保険金をお支払いいたします。



職場に向かう途中のケガ

仕事中のケガ

お問い合わせ先

石川県電気工事工業組合
「任意労災制度」推進担当
AIG損害保険株式会社 金沢支店
金沢市南町4-60 金沢大同生命ビル

<https://www.aig.co.jp/sonpo>

TEL 076-222-0005 FAX 076-222-1287

(受付時間)午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

(営業種目)自動車保険・火災保険

賠償責任保険・その他各種損害保険

引受保険会社



AIG損害保険株式会社

募集文書承認番号: D-006666(202306)

全日電工連認定損害保険制度の概要

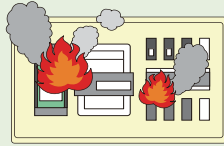
全日電工連組合員の皆さまに、3つの損害保険制度をご用意しております。全日電工連ならではのスケールメリットを生かした割安な加入費(保険料)で皆さまの経営を支えます。

物への補償

人への補償

組立保険制度

組合員の皆さまの資材、工事物件を守ります。



夜間火災が発生し、現場事務所および収容の什器・備品を焼損した。



工事現場で電線が盗難にあった。

業務災害補償制度

従業員や役員、個人事業主などの労災リスクを補償します。



作業中に感電して亡くなられた。



従業員が作業中にケガをし、後遺障害第1級が生じた。

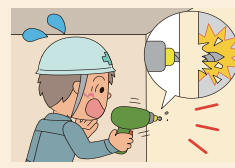
ご自身の損害

第三者損害賠償制度

第三者(他人)の身体に障害を、または財物に損壊を与えてしまったことにより、法律上の賠償責任を負った場合に補償します。



5年前の太陽光発電システム設置工事の際、ボルトの締めが緩かったためすき間ができ、雨漏りが発生した。



空調設備工事中、誤って壁をキズつけた。



工事中、誤って工具を落とし、通行人にケガをさせた。

第三者の損害

全日電工連の生命保険

グループ共済制度

病気 災害 24時間保障!
業務外 業務上

加入年齢範囲の拡大!

経営者おすすめコースの新設!

制度の推進を
承っております
幹事会社住友生命
より、訪問の上、
詳しい説明をさせ
ていただいております。

2023年度版(概算掛金) 全日電工連の生命保険 (災害保障特約付 団体定期保険[契約概要・注意喚起情報])

本パンフレットをご一読いただき、この機会にぜひ加入・保障の見直しをご検討ください

全日電工連 グループ共済制度のご案内

組合員の皆様が安心して働ける環境づくり、大切な事業の継続に役立つ保険です。

従業員の皆さま
手頃な掛金で充実保障!
安心・安全な職場環境づくりに役立ちます。

経営者の皆さま
大切な事業の継続に備える
「経営者おすすめコース」が役立ちます。
(最高3000万まで加入・増口可能)

掛金の年齢区分を見直しました。

**2023年
リニューアル** 若年層・ミドル層の皆様にもさらに加入しやすい掛金になりました!
幅広い世代の皆様を厚くお守りします!

	15歳	50歳	60歳	70歳	80歳
2022年度 月額掛金 (確定)	360円	560円	1,310円	1,310円	
2023年度 月額掛金 (概算)*	320円	500円	1,380円	1,380円	

※2023年度月額掛金は概算掛金です。実際の掛金は申込締切後に確定するため記載の掛金とは異なる場合があります。掛金は毎年更新日に見直しされます。

主契約保険金額
100万円(1口)
あたりの掛金
(掛金イメージ)

新規加入年齢75歳まで

全日本電気工業労働組合連合会
 〒1105-0014 東京都港区芝2-9-11 全日電工連会館1F TEL 03-5232-5861 FAX 03-5232-6855 E-MAIL: zennichi@znd.or.jp
 本パンフレットは次回更新日まで大切に保管してください。 品名コード 102-251 CG2022-0330

※ご加入にあたっては
こちらのパンフレットを必ずご覧ください。



全日電工連グループ共済制度幹事会社
住友生命保険相互会社
金沢支社

〒920-8632 石川県金沢市上堤町1-18
 住友生命金沢上堤町ビル7F

あなたの未来を強くする

住友生命

TEL076-231-1283

● 組合事務局日誌 ●

- 1月4日 仕事始め
6日 三役会議・年始挨拶廻り（全日電工連）
組合運営研究会・新春交流会
（石川県中小企業団体事務局協議会）
11日 年始挨拶廻り
（北陸電気工事組合連合会）
13日 選挙管理委員会
16日 企画委員会
18日 安全管理指導員研修
（北陸電気工事組合連合会）
20日 組合加入面接
31日 石川県産業振興指針検討委員会
（石川県中小企業団体中央会）
- 2月2日 女性部設立事前説明会
7日 全国女性部連絡協議会（全日電工連）
9日 金沢本部全体会議
10日 第3回送配電工事協働情報連絡会役員
会議（北陸電気工事組合連合会）
15日 合同会議開催地懇談会（全日電工連）
16日 理事会・合同会議（全日電工連）
20日 配電委員会
27日 理事会・代議員会
（ほくりく地域産業企業年金基金）
- 3月3日 女性部設立総会・記念式典・祝賀会
7日 技術・認証委員会（全日電工連）
8日 取締役会（全日総合サービス）
10日 第一種電気工事士定期講習
14日 配電工事特別安全パトロール
15日 年度更新説明会
（全国労働保険事務組合連合会石川支部）
23日 女性部全体ミーティング
24日 電気記念日式典・表彰式
（日本電気協会北陸支部）
27日 配電委員会
企画委員会
（石川県中小企業団体中央会）
28日 総務委員会
- 4月6日 E S C O会議
10日 女性部ランチ会
14日 金沢商工会議所電気業部との合同懇親会
（石川県電気業会）
18日 監事会
20日 能登本部全体会議
21日 総合政策会議（全日電工連）
24日 配電工事業者事業主会議
26日 配電委員会（北陸電気工事組合連合会）
27日 電設委員会（北陸電気工事組合連合会）
28日 常務会
- 5月12日 総務委員会（北陸電気工事組合連合会）
15日 外線・引込線 新入社員教育（～17日迄）
16日 監事会（北陸電気工事組合連合会）
17日 役員会（石川県中小企業団体中央会）
通常総会（石川県中小企業懇話会）
18日 役員会
19日 金沢本部全体会議
23日 加南本部全体会議
24日 三役会議・理事会・総合サービス取締
役会（全日電工連）
25日 支部通常総会・表彰式
（全国労働保険事務組合連合会石川支部）
29日 支部大会・表彰式（日本電気協会北陸支部）
31日 第61回優良従業員表彰式・第82期通常総代会
- 6月5日 常務会・通常総会（北陸電気工事組合連合会）
6日 定期総会（北陸経済連合会）
12日 広報委員会
通常総会・表彰式（石川県中小企業団体中央会）
13日 内線 新入社員教育（～15日迄）
14日 新加入者面接
北陸地区電気エネルギーを考える会総会
（北陸電気工事組合連合会）
16日 正副会長会議（石川県建設産業連合会）
22日 理事会・通常総会（石川県建設産業連合会）
27日 通常総会（石川県中小企業団体事務局協議会）
28日 三役会議（全日電工連）
29日 理事会・通常総会（全日電工連）

こうほう 第158号

発行 2023年7月20日

発行所 石川県電気工事工業組合
金沢市新保本4-65-22
TEL (076) 269-7880(代)
FAX (076) 269-7881




届けるのは、 北陸を愛するエネルギー。

暮らしによりそい、電気をお届けしつづける使命とともに
未知の領域に、勇気を持って挑んでいく。

一人ひとりの熱い想いが、電気の流れる「道」をつくる。

未来へ、めぐらせる。

 北陸電力送配電